

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立しげのぶ特別支援学校

学校番号 (50)

評価実施日		令和4年3月4日(金)	
委員	氏名	所属等	備考
	大野 裕介	障害者支援施設「三恵ホーム」施設長(学校評議員・学校関係者評価委員)	
	山本 太平	松山城山ライオンズクラブ会員(学校評議員・学校関係者評価委員)	
	若本 裕之	愛媛県立子ども療育センター所長(学校評議員・学校関係者評価委員)	
	本田 隆彦	東温市教育委員会教育委員(学校評議員・学校関係者評価委員)	
	二神 則子	東温市田窪婦人クラブ役員(学校評議員・学校関係者評価委員)	
	森谷 祥平	愛媛県立しげのぶ特別支援学校PTA会長(学校関係者評価委員)	
	西村希和子	愛媛県立子ども療育センター看護部長(学校関係者評価委員)	
中田まどか	愛媛県立子ども療育センター生活指導担当係長(学校関係者評価委員)		

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 明るく楽しい学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の方たちにおいては満足されている。先生方は教育支援計画や指導計画において一貫性や系統性を持った指導について自信をもって良い。学校評価アンケートで、教職員の評価が低いこの項目については、裏を返せば先生方の責任感の現れだと思ふ。 高い評価が出ており“明るく楽しい学校生活”が実践されている。 <p>2 一人一人が主体的に学べる学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の観点で、教職員の評価、保護者の評価共に弱いところがあり、子どもへのキャリア支援について少し強化し工夫することが必要と思われる。 毎年個々の教員が、新たに教材研究や教材作りをすることになれば、その労力と時間は大きな負担となる。ICT活用事例の蓄積と発信に取り組みされたことは、そのようなことの改善にもつながり、教員間のICTに関する知識・技能の個人差を埋めるためにも大いに役立つ。年々充実した教育活動が行えるよう、この取組が全領域に広がるといいと思う。 <p>3 安心・安全に学べる学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の方たちは、教室、廊下、校舎内外の施設/設備の整備に配慮を感じておられないようだ。 昨年度にも増して、徹底したコロナ予防策を講じられていることが一番の安心・安全であり、児童生徒・保護者・教職員共に良い結果が出ている。 不審者対応の訓練を警戒心が薄れているこの時期に実施されたことは、注意喚起を促す意味で大きな意義があると思う。 <p>4 保護者・地域から信頼される学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> PTAの活動調整、教育活動の広報、教育相談の広報等情報公開について不足と捉える意見が見られる。コロナ禍であり、何らかの代替での情報公開が必要である。 保護者からの要望を受け回答や対策を実施されていること、大変素晴らしい。一人一人の要望に応えることは大変と思うが、信頼関係の構築に重要なことだと思う。 <p>5 業務・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単に改善でないだろうが、意識をもって改善していただきたい。 先生方の業務が多いと見受けられる。残業については均等化を図り、ライフワークバランスの確保をお願いしたい。 教職員の業務のスリム化に対する評価が低い。忙しい教育活動に追われている様子が想像できる。一層業務の改善が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画を活用し、学級担任や授業担当者、自立活動課員が、幼児児童生徒の実態把握に努め、共通理解をもって個々に応じたより良い支援の方向性を打ち出す。 自立活動では、グループ協議を取り入れた研修を継続し、より実践に役立つ研修を行う。また、ICTの活用などニーズの高い研修の機会を設ける。 年間を通して身に付けたい能力や態度が意図的・継続的に育成されるよう、キャリア教育の視点についてキャリア教育全体計画を整理して示し、指導計画やキャリアガイド教室の活用に生かす。 キャリア育成のための取組を、進路だより等を通じて周知する。 遠隔授業や教材、コミュニケーション機器の活用などICT機器の有効な活用事例の蓄積及び情報提供を行う。 新型コロナウイルス感染症防止対策とともに安全点検の徹底と計画的な学校の設備・教育環境改善を目指す。 清掃や換気、消毒も含め安全で安心して活動できるよう日常の環境整備に努める。 教職員研修を通して非常時対応について周知を図り、可能な範囲で学校行事としての避難訓練を実施する。 教育活動や教育相談、進路に関する情報等を正確に把握し、学級通信や各課便り、ホームページ等で速やかに情報提供する。 保護者との情報交換を必要に応じて行い、質問や意見を迅速に集約、対応するよう関係各所で連携を図る。 定時退勤日や学校閉庁日の設定を継続してリフレッシュできる体制を取り、全ての教職員が健康に働ける職場環境を整える。 業務の本来の目的や開催方法を見直すことで、今後も引き続いて業務のスリム化を通じた働き方改革に取り組んでいく。